

社会福祉法人いずみ会 幼保連携型認定こども園 つるた乳幼児園

事業の目的	就学前の全ての子どもに質の高い幼児教育及び保育の総合的な提供を行うことを目的とする		教育・保育方針	環境を通して「あそび・学び」(生活)を豊かにすることで、子ども一人一人の感性を育てることに重点をおき、やがて芽生えてくる知性を期待し年齢別クラス編成にこだわらずに人間として生きていく為の総合的指導を行う										
教育・保育理念	人格教育		教育・保育目標	1. 心身共に健康な子ども ～あかるいころ～ 2. 愛情豊かな子ども ～うつくしいころ～ 3. 動的、主体的に行動する子ども ～つよいころ～ 4. 平和を愛し、民主的な子ども ～ただしいころ～										
子どもの教育及び保育目標	乳児	・保育教諭等との愛情豊かな触れ合いの中で心と体の発達を促す ・安全な環境の下で探索意欲を満たす	3歳児	・基本的な生活習慣を身に付ける ・身近な環境に関心を持ち、積極的に関わる	・1号認定 基本保育時間 8:30～16:30 (7:00～8:30、16:30～20:00 預かり保育) ・2, 3号 認定 (1)保育標準時間 7:00～18:00(18:00以降20:00まで延長保育) (2)保育短時間 8:30～16:30(7:00～8:30、16:30～20:00延長保育) ※教育時間 1日4時間 (9:30～13:30)									
	1歳児	・安心できる環境の下で自ら体を動かそうとする意欲を育む ・自ら環境に関わる意欲が高まる	4歳児	・喜んで色々な活動に取り組む中で生活に必要な習慣や態度を身に付ける ・保育教諭や友達との関わりを深め、相手の気持ちにも気付き集団で行動できるようになる										
	2歳児	・応答的な関わりの中で自分で何かをしようとする気持ちが育つ ・自分の意思や欲求を言葉で表す	5歳児	・健康な生活リズム(早起き、早寝、朝ごはん)を身に付け、生活に見通しをもって行動する ・主体的に行動し集団的な遊びや協同的な活動を通して達成感を味わう										
特 性		教育・保育スタイル		小学校との接続・連携		子育ての支援(地域の保護者含)								
・乳幼児の最善の利益を保障し、子どもの未来を見通し「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を育てている ・全ての子どもが、分け隔てなく生活や遊びを通して共に育ち合い、心身の発達、成長が促されるよう適切な環境の下で生活している		・オープン教育・保育システム(混合保育における複数担任制)を実施 ・園児の発達に即した主体的・対話的で深い学びの中で教育・保育を提供 ・様々な人やものとの関わりを通して多様な体験をし、心身の調和のとれた発達を促す		・小学校へのなだらかな接続に向けたアプローチカリキュラムの実施 ・小学校1年生との交流会 ・園内各種行事への1～6年生までの参加呼びかけ ・園内行事等の案内送付 ・入学児童に関わる連絡会 ・三世代ふれあい祭り ・幼小連携委員会		・共に成長を喜び合い、子育ての喜びを感じられるようにする ・対話による送迎時の相談、助言 ・月1回の子育て相談日 ・乳児体験による園開放 ・おしゃべりコーナー及び園庭開放し地域交流								
子どもの教育及び保育内容														
養 護	生命の保持	・生理的欲求を満たす ・保健的で安全な環境を整える	1歳児(満1歳以上)	・生活リズムの形成を促す	2歳児(満3歳含む)	・適度な運動と休息がとれるようになる	3歳児	・健康的な生活習慣の形成を促す	4歳児	・生活に必要な習慣や態度が身に付くようになる	5歳児	・健康及び安全に必要な態度が身に付くようになる	育ってほしい10の姿	3つの資質・能力
	情緒の安定	・受容的、応答的な触れ合い ・情緒的な絆の形成	・応答的な関わりによる心の安定	・自我の育ちへの受容と共感	・主体性の育成	・自己肯定感や他者を受容する感情を育む	・信頼関係を基盤に主体的に活動し、自信をもって生活する	健康な心と体	自立心	協同性	豊かな体験を通じて、感じたり気づいたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」			
教 育 及 び 保 育	三つの視点	健康	健康	・歩行の確立により探索意欲が高まる	・排泄の確立 ・基本的運動機能が育ち身体感覚を高める	・基本的運動機能が発達 ・基本的な生活習慣の確立	・全身のバランスをとる能力が発達する ・健康に対する関心を高める	道徳性・規範意識の芽生え						
			人間関係	・他の園児や周囲の人への興味、関心が広がる	・自己主張の表出 ・友達との関係構築	・人と関わる力の基礎を培う	・協調性が芽生える ・社会性が育つ	社会生活との関わり						
	身近な人と気持ちに通じ合う	環境	・身近な環境への興味、関心をもつ	・自然事象に関心をもち好奇心、探究心が育つ	・自然などの身近な環境に興味、関心をもつ	・自然などの身近な環境に積極的に関わり様々なものの特性を知る	・好奇心、探究心をもって身近な事象に関わり自然への愛情や生命の尊さに気づく	自然との関わり 生命の尊重						
		言葉	・保育教諭等との応答的な関わりにより言葉を獲得	・簡単な言葉のやりとりを楽しむ	・生活に必要な言葉を理解して使う ・言葉を交わす喜びを味わう	・言葉による伝え合いを楽しむ ・文字への興味、関心が深まる	・豊かな言葉や表現を身に付け友達と心を通わせる	数量・図形・文字等						
身近なものとの関わり	表現	・いろいろな素材に触れ、興味を広げる	・イメージを広げ感性を豊かにする	・様々な表現を楽しみイメージを広げる	・イメージを共有して創造的な活動を楽しむ	・ダイナミックな表現とともに細やかな製作をする	言葉による伝え合い							
食 育	食を営む基礎	・食に対する意欲を育む	・いろいろな食材に興味をもち楽しく食事する	・様々な食材を味わう ・友達と一緒に食べる楽しさを味わう	・食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける	・食を通し食といのちとの関係性に関心をもつ	・食といのちのしくみを知る	豊かな感性と表現	学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力などの基礎」				
健康支援	・年2回嘱託医による内科及び歯科健診 ・心身状態、養育状態の把握 ・早寝、早起き、朝ごはんの励行 ・異常が認められた時の対応 ・年間保健計画				延長保育 休日保育	・通常の保育と異なる環境の中で子どもが安定して豊かな時間を過ごせるよう工夫する また、異年齢児との触れ合いを大切にしたいやりの気持ち、憧れの気持ちが育つよう配慮する								
環境・衛生・安全管理	・施設内外の設備、用具遊具の清掃及び消毒・安全管理及び自主点検 ・職員検便 ・年1回外部業者による点検及び清掃 ・学校薬剤師による環境調査・救命講習会 ・インフルエンザ対応				情報公開	・苦情処理解決対応及び第三者委員 ・ホームページ開設								
災害への備え	・避難、消火訓練(火災・地震・水害・不審者対応) Jアラート訓練 ・消防署査察及び消防点検 ・被災時における対応と備蓄				研修計画	・法人研修会の継続 ・教育保育要領対応の園外、園内研修の継続 ・研修報告会 ・園内研修 ・危機管理マニュアル研修会								
地域との交流	・鶴の舞橋桜まつり参加 ・津軽富士見湖パーク植栽参加 ・老人施設等訪問 ・消防団観閲式の参加 ・町民祭参加 ・高校文化祭の参加				自己評価	・法人施設による適切な運営管理の評価 ・評価委員会による学校評価 ・自己チェックリストの実施 ・重点目標における反省(職員によるレポート提出)								